

科目	統合演習				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義、演習	授業時期	3年
講師名	②高橋美由紀 ③藤田景子 ③伊藤純子 ③八塚愛未 ③神野みのり 補助(③河本さやか)				
実務経験	②助産師(医療機関) ③看護師(医療機関)				
ねらい	看護に関する既修得内容をより臨床実践に近い形で学習し、臨床に適応できるように 知識と技術の統合を図り、看護の実践者として患者の看護を総合的に展開できるようにするために必要な態度を育てる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームナーシングによる看護提供方法を理解し、統合実習での自己の行動がイメージできる</li> <li>2. リーダーシップ、メンバーシップをふまえた適切な行動をとる必要性が再確認できる。</li> <li>3. 複数の模擬患者の優先順位と効率性を考慮した行動計画を立案することができる。</li> <li>4. 計画に沿って模擬患者への援助を実施し、患者の倫理、安全・安楽、看護業務、自己の臨床実践力等の視点から分析的に評価することができる。</li> <li>5. 統合実習で経験する看護技術の事前学習を行うことができる。</li> <li>6. 看護実践中に起こりうるインシデント、アクシデント事例を分析し、予防策や発生時の対処方法を考察することができる。</li> <li>7. 既習内容や実習での学びを振り返る。</li> </ol>				
授業計画					
回	内容				
1	事例(ペーパーペイシエント)の全体像の把握、看護問題の抽出と看護計画立案				
2	事例(ペーパーペイシエント)の全体像、看護問題 プレゼンテーション				
3	事例(ペーパーペイシエント)の看護実践 プレゼンテーション①				
4	事例(ペーパーペイシエント)の看護実践 プレゼンテーション②				
5	夜勤について 管理の視点、継続看護の視点等				
6	チームナーシングにおいて必要なスキル①優先順位の考え方、報告連絡相談について				
7	チームナーシングにおいて必要なスキル②チームステップスとは SBAR、CUSについて				
8	発信力について 伝える技術、学ぶ姿勢について				
9	シミュレーション演習の事例(統合実習で看護した患者から教員・指導者が選定)の全体像把握、看護問題の抽出				
10	シミュレーション演習の事例(統合実習で看護した患者から教員・指導者が選定)の看護計画立案				
11	シミュレーション演習の事例(統合実習で看護した患者から教員・指導者が選定)の看護計画、行動計画立案				
12	事例演習発表(シミュレーション演習)①				
13	事例演習発表(シミュレーション演習)②				
14	事例演習発表(シミュレーション演習)③				
15	事例演習発表(シミュレーション演習)④				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 35%ルーブリック評価 55%、を総合して評価する。 60点以上を及第点とする。				